

科目名	学習心理学 I	
担当者	木下 昌也 / KINOSHITA, Masanari	
科目情報	心理臨床<心理学> / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	古典的条件づけ及びオペラント条件づけを中心とした学習の過程について講義する。各テーマにおいて多くは動物実験の話から始めるが、最終的にはヒト（子どもも含む）の学習について見ていく。さらに学習心理学の視点から子どもの行動及び心の発達についても考察する。
	到達目標	オペラント学習及び古典的条件づけを中心とした学習のメカニズムを理解する。
授業計画	(1)学習とは (2)心理学史の中の学習心理学 (3)学習心理学の流れ (4)古典的条件づけ：パブロフの実験から (5)古典的条件づけ：嫌悪条件づけ (6)古典的条件づけ：古典的条件づけの諸問題 (7)オペラント条件づけ：オペラント条件づけの基礎 (8)オペラント条件づけ：部分強化と強化スケジュール (9)オペラント条件づけ：強化とは (10)オペラント条件づけ：応用行動分析 (11)学習と発達 (12)社会的学習 (13)技能の学習 (14)学習理論の応用：行動療法 (15) 総まとめ	
自学自習	事前学習	・前回までの学習についてノート、プリント等で振り返っておくこと
	事後学習	・当回の学習についてノート、プリント等で振り返ること ・何回かおきに復習用の課題を課す
使用教材・参考文献	【教】教科書は使用しない。授業中資料を配付する。 【参】J. E. メイザー『メイザーの学習心理学』二瓶社 1996 ISBN4-931199-43-7 佐藤方哉『行動理論への招待』大修館書店 1976年 ISBN4-469-21056-0	
成績評価方法と基準	<方法> 期末テスト <基準> オペラント条件づけ及び古典的条件づけについて理解していること及びそれらについてヒトの学習として説明できること	
備考		